

令和6年度 第1回 物見山スワンの家 運営推進会議議事録

日時	令和6年 4月23日 金曜日 14:00~14:50
場所	物見山スワンの家 会議室
出席者	住民代表 物見山3丁目町内会長 棚田様 利用者ご家族代表 薄田様 地域包括支援センター 田村様 グループホーム空港西様 丸山様 スワン・パートナーズ 管理部 都合により欠席 施設職員 所長 宮村(司会) 計画作成担当 今井

議事

1. 以下の通り事業活動報告を行いました。

(ア) 事業活動報告

◎入居者状況

(介護度の内訳) 4月20日現在

要介護1…5名 要介護2…4名 要介護3…5名 要介護4…4名

計17名 女性17名

平均要介護度…2.4 平均年齢…88歳

◎事故・ヒヤリハット(2~3月)

		内容	対応策
2月	ヒヤリハット 1件	薬の日付の間違い	マニュアル通り飲む前にご本人の名前、日付、朝昼夜食後の確認を行う。
2月	事故 5件	1. 居室での転倒事故3件 怪我なし 同じ方で2件 体調不良時1件 2. ベッドからの転落 3. 浴室で洗身時脱力して浴槽におでこをぶつける	1 同じ方は居室の環境整備と体感センサー設置ですぐに見守れるようにする 体調不良の方はベッドをなるべく出入り口側に移動する(体調不良時のみ) 2. ベッドの奥に寝ていただく。 3. 浴槽の手すりの変更
3月	ヒヤリハット 1件	リモコンで起き上がるベッドの為に寝ている間にリモコンを触ってしまい、ベッドが起き上がっていた	手の当たる位置にリモコンを置かないようにする
3月	事故 5件	1 日中居室での転倒 2 トイレ内での転倒 3 ホールで椅子に座りそこね転倒	1 居室の環境見直し 2,3,4 職員の見守り確認 5 コロナ対応であっても臨機応変

	<p>4 コロナ対応中居室内で転倒</p> <p>5 コロナ対策中居室から出たいと制止に反発し職員をつき飛ばそうとして転倒（腰椎圧迫骨折）</p>	<p>に、他の職員と交代して対応にあたる</p>
--	---	--------------------------

### ◎活動報告

3月 ひな祭り会 各階で雛人形を作ったり、ゲームをして楽しみました。  
味噌作り

4月 お花見 1階はコロナ対応後の体調不良者がいた為中止。  
2階は2グループに分け牛海公園にお花見に行きました。

3月25日 1階入居者の方が発熱 検査結果コロナ感染陽性

当日から1階入居者全員を居室対応として感染予防にあたりましたが、4月2日までに入居4者名職員2名が感染し、4月7日に感染収束となりました。発熱食欲不振はありましたが、全員重症化せず回復されました。ただ、居室対応の期間の筋力低下や居室対応の間のストレス対応の課題が残りました。また、コロナ対策中の転倒もあり対応がとても難しいものと感じました。この経験を活かし、感染対策業務継続計画を見直していきたいと思います。

今後ご家族との外出中の感染対策の徹底をお願いしていきたいと思います。

### ◎職員研修

(3月) 中堅職員のキャリアと自己成長研修・コロナの為4月に延期

(4月) 身体介助トランスファー研修

### 2. 身体拘束適正化委員会

現在身体拘束は行っていません

ユニット出入口の施錠について 定期的に不安が強くなり出口を探したりされる方がいらっしゃるのでは夜間職員が一人の時の施錠を行うことを継続。

センサーマット（1名）、体感センサー（4名）の使用ご本人に拘束感がないよう配慮をおこなう。

令和6年度身体拘束適正化研修8月、2月に実施

### 3. 苦情報告

なし

### 4. その他

3月15日～スワンの里より職員異動（5月から女池上山グループホームへ）

4月1日～新採用職員1名入職

### 5. ご意見

- ・コロナ感染は5類になっても高齢者施設では対策を行っており、今後も必要である。
- ・無症状のコロナ感染の人もいるので
- ・1月の地震は訓練ではなく実際に避難が必要であったため今後も自然災害・火災については十分訓

練を行っていった方が良い。避難所でも食料等の期限切れ等新たな課題も見つかり、十分な備えが必要。

- ・他グループホームでは火災の避難訓練は実際の火災と同じようにどこから火が出たかわからないようにして対応をしている。マニュアル通りに動くのではなく職員が考えて動けることが重要になってくる。

- ・事故報告では転倒報告が多かったが、動ける方が多いと転倒も多いと思うので気を付けてほしい。  
→新規の方や、コロナ中の居室内での転倒が多かったので、その都度、居室等の環境を考え直して、再検討を行うこととしている。

以上